

令和4年度 第1回学校給食用物資選定懇談会 議事録概要

- 1 **日時** 令和4年7月27日（水）午後2時から午後2時50分まで
- 2 **場所** 生涯学習センターけやき 第2会議室
- 3 **議題**
 - (1) 学校給食用物資選定懇談会について
 - (2) 令和4年度下半期（10月～3月）使用物資について
 - ア 学校給食用物資について
 - イ 一般物資について
 - ウ 選択制物資について
 - エ 選択制物資検討結果表について
 - オ 新規物資について
 - (3) その他
- 4 **出席者** 岩田真由美校長、小田中大直校長、藤崎奈津子保護者の代表、奥津和恵学校栄養職員、松本萌学校栄養職員、吉田志帆学校栄養職員、桐山袈遥学校栄養職員、白石真理子学校栄養職員、丸山賀子栄養教諭
- 5 **欠席者** 小川新治保護者の代表
- 6 **事務局** 内田学校安全課長、田代学校安全課副課長、田邊給食係長、山崎給食係長

7 議事概要

(1) 開会

ア 会議の公開について

事務局より小田原市学校給食用物資戦隊懇談会設置要綱 第4条によりこの会議は公開になることを説明した。

イ 学校安全課長挨拶

皆様、こんにちは。学校安全課長の内田でございます。

本日は、大変お忙しいなか、令和4年度第1回学校給食用物資選定懇談会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。皆様方には、日頃から、学校給食における円滑な運営にお力添えを賜っておりますことに、改めまして、厚くお礼を申し上げます。コロナ禍の影響等により、学校給食の材料費が高騰しており、本市においては、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源に、給食材料費の価格高騰分を補填することで、従来どおりの栄養バランスや質・量を保った学校給食を安定的に提供していきます。

この懇談会では、学校給食で使用される物資のうち、調味料や缶詰・冷凍食品・乾物などの一般物資や選択制物資、新規物資について、ご意見をいただくことを目的としています。校長先生、保護者の代表、栄養教諭および学校栄養士の皆様から御意見をお聞きし、児童・生徒の健康を第一に、安心・安全でおいしい給食が提供できるように、努めてまいりますので、是非、皆様にご協力いただきますよう、お願いを申し上げます。

ウ 自己紹介

構成員、事務局の順に自己紹介を行った。

(2) 議題

(1) 学校給食用物資選定懇談会について

事務局より学校給食費の公会計化に伴い、小田原市学校給食会が解散したことから、学校給食用物資については、小田原市で選定することとなった。この会は、学校給食用物資の選定にあたって給食関係者から意見を聴取するために設置するものであると説明した。

(2) 令和4年度下半期（10月～3月）使用物資について

ア 学校給食用物資について

資料1 学校給食用物資について、事務局から説明し、質問はなかった。

イ 一般物資について

資料2 令和4年度下半期一般物資一覧について事務局から説明し、丸山栄養教諭から「時価」の物資について各栄養士から業者に問い合わせをするのか質問があったため、事務局から学校安全課で取りまとめて発信すると回答した。

ウ 選択制物資について

資料3 令和4年度下半期選択制物資について、事務局からパワーポイ

ントで説明し、質問はなかった。

エ 選択制物資検討結果表について

資料4 令和4年度下半期選択制物資検討結果表について、事務局から議題(2)ウでの説明を資料4に味・香り・色・食感・使いやすさを評価項目として詳細にまとめたものであることを説明した。質問はなかった。

オ 新規物資について

事務局から、新規物資について事前に栄養教諭及び学校栄養職員から希望を募ったところ、第1ブロック：(塩麴)、第2ブロック：(カレー粉200g、梅干し200g)、第3ブロック(大豆ミートバーグ、筍水煮国産)、調理場ブロック：(マーマレード1kg)があったことを説明、業者からの新規登録物資用の必要書類の審査及び代替の有無を検討し、塩麴、カレー粉の新規登録を考えていると説明した。

続いて、事務局から新規物資について希望を出した栄養士の意見を求めたところ、第1ブロックの奥津栄養士は、塩麴を希望した理由は調味料のバリエーションを増やすため、用途は鶏胸肉など下味や野菜炒めなどの味付けに使用していきたいと話した。

第2ブロックの松本栄養士は、カレー粉の200gは現在400gのものが登録されているが、小規模校では賞味期間の間に使い切れないため小容量のものであれば無駄なく使用できるため希望したとの説明があった。

(3) その他

保護者代表の藤崎さんは、子どもから聞いた話で小学校と中学校の給食に差があり、中学校給食を改善してほしいとの意見があった。食器はお弁当のようなもので、小学校の給食は温かいが、中学校は冷めている。食べたくなるような中学校の給食を出してほしいとの意見があった。

事務局からまだ内部での話であるが、生徒にアンケートを実施し、献立に反映させていきたいと考えている。センターではランチ皿(4か所くぼみがあり生徒が盛り付け、汁物を入れるカップもある。)を使用し、配送車で各学校に運搬するため、保温性のある二重食缶を使用し、温かい状態で提供している。調理時間も配送時間にぎりぎりに作成するようにしていると説明した。ご意見は真摯に受けとめ、職場に持ち帰り、調理員、栄養士に伝達すると伝えた。

事務局から栄養士として保護者に伝えたいことを尋ねたところ、第3ブロックの吉田栄養士はコロナ禍が続いているので、保護者の方に給食のことについてお話する場が少なくなっている。家庭に配付している献立表などを活用して家庭でも話題にしてほしい。

第4ブロックの桐山栄養士は物価高騰で予算内に収めることを苦慮していたが、給食費も交付金を活用できることができてありがたい。

第5ブロックの白石栄養士は物価が高騰していることに驚いた。鶏胸肉もたんぱく質が多くとれるので使用していきたい。また児童に給食の感想を聞き、その情報を給食の献立作りに活用していきたい。

調理場ブロックの丸山栄養教諭は、学校では黙食して静かに食べている現状がある。また物価高騰に対し補助金を使えるようになったので、おいしく食べてもらえる献立を工夫していきたい。

田邊給食係長からセンターでは8校分3900食作っているため、時間差で調理をしている。生徒の喫食時間の2時間前までに調理が完了するように計画しているが、冬場は冷めてしまう。今後、コロナが収束したら、学校訪問に伺い、生徒の感想などを参考に味の工夫をしていきたい。令和6年9月には学校給食センターの建替が予定されている。保温食缶もより保温性の高い物に変更、また食器もランチプレートから個々の食器に変える予定である。

事務局から小学校及び中学校の校長からご意見をお聞きし、新玉小学校の岩田校長は温かい給食を頂いている。物価高騰への対応にも感謝していると述べられた。

泉中学校の小田中校長は小学校及び中学校の給食を見てきたため、違いはよく分かる。検食は最初に配食されるが、温かい状態で頂いている。

学校の現状は、コロナ感染拡大防止のため生徒は黙食を継続している。昨年栄養士から献立に対するご苦勞も聞いている。午前日課になると給食が提供しないことになるが、学級閉鎖で発注止めをする対応など今後も続くため、小田原市と一緒に考えていきたいと意見を述べられた。

事務局から、令和4年度下半期の一般物資、選択制物資、新規物資について意見を参考にして決定する。9月には、各学校と栄養教諭および学校栄養職員に物資の価格表を送付したいと説明した。

次回、令和4年度第2回物資選定懇談会を、令和5年2月3日（金）に予定していると伝達し、閉会とした。